

第14回 大好き東村山写真コンクール

入賞作品決定

今回の「第15回大好き東村山写真コンクール」は市制施行50周年を記念し、時期を早めての開催を予定しています。詳細は決定後市報等でお知らせします。今すぐカメラを片手に「東村山らしさ」を探してみませんか。

佳作

「青空もVサイン」(北山公園) 沖濱隆志さん(久米川町)



「夕焼け」(久米川町) 宗林保広さん(久米川町)



「祭り」(諏訪町) 萩原喜久栄さん(諏訪町)



「樹氷と富士山」(狭山公園) 本田 豊さん(多摩湖町)



「幽玄・暮冬空堀川」(空堀川) 稲葉光亮さん(美住町)



「東村山写真コンクール」審査員写真家から

講評

宇井真紀子さん

最優秀賞の「八国山はもみじのお山」は、逆光に輝く紅葉の赤と地面に落ちる影が美しい。右端にシルエットで写り込んだ人物も効果的だと思います。ほかの入賞作品も光の方向がよく、写真をドラマチックにしています。同じ風景でも、どの時間帯に撮影するかで、写真の印象は大きく変わります。

富麻綾子さん

例年同様、風景写真の応募作が多い回でした。最優秀作品は、八国山の紅葉の鮮やかさと地面の柔らかな色を木陰の黒で引き締め、そのバランスが秀逸でした。

ワンポイントアドバイス

宇井真紀子さん

写真の楽しさは、被写体との出会いにあります。「いいな」と思う感動が大切です。基本は、自分がいちばん心ひかれたところにピントを合わせましょう。そして、ピントを合わせたもの以外の背景にも気を配りましょう。特に人物写真の時は、表情のみに気を取られすぎて画面の隅々まで見る余裕がなくなりがちです。余分なものは画面に入れないように。撮った写真をあとで冷静に見て「もっとこう撮ればよかったかな」と考えて次に活かせることが、上達のコツです。また、ほかの人の撮った写真を見るのもとても勉強になります。よい

市長特別賞



「雨上がりの夕暮れ」(久米川町) 日高沙織さん(久米川町)



写真は見る機会を増やしてください。富麻綾子さん
まずは一枚、気ままに撮ってみてください。そして、なぜ撮りたくなったのか、何を写真に収めたか、一度客観的に考えてみることをお勧めします。

人物写真なら被写体の視線の先を広く取り、見る人の想像をかきたてる。風景写真なら空の広がり、すがすがしさを伝える。というように、作品のねらいをはっきり決めると、フレームのどこに何を配置したら一番引き立つかがわかってくると思います。そのイメージを基に最良のアングルを見つけてください。作品の目的や情景が、ぐっと伝わりやすくなります。



多摩の魅力発信プロジェクト

みんな大好き「ひがっしー」お土産アイデアコンテストと作品展 開催

日時 3月8日(土)午前11時～午後3時 場所 北庁舎前駐車場および市民センター ※雨天時は北庁舎と市民センターで開催します。

①「ひがっしー」お土産アイデアコンテスト

市公式キャラクター「ひがっしー」を題材にしたお土産のアイデアイメージ図案を募集します。
※コンテスト当日に優秀作品を決定します。
★応募用紙に記載している注意事項を確認のうえ、ご応募ください。



②大好き「ひがっしー」作品展

「ひがっしー」が写った自慢の写真やイラストを募集します。応募された作品は当日イベント会場で展示します。

①・②共通事項

応募用紙は次の方法・場所で入手できます
インターネット 市のホームページの「広報ナビ」
設置場所 市民協働課(本庁舎1階)、企画政策課(本庁舎3階)、いきいきプラザ総合相談窓口、各公民館、ふるさと歴史館、八国山たいけんの里、スポーツセンター、サンパルネ内「地域サービス窓口」・「産業・観光案内コーナー」

(ワンズタワー2階)、各ふれあいセンター、青葉地域センター
応募方法 応募用紙に必要事項を明記し、2月21日(消印有効)までに次の方法でご応募ください。
○直接左記設置場所へ
※閉庁日・休館日を除く
○郵送又はEメールで〒189-8501企画政策課(shisei50th@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp)へ
問い合わせ 経営政策部企画政策課